

2021年9月27日
 国立情報学研究所
 学術コンテンツ課

2021年度 学術情報流通推進委員会 活動中間報告

第1期基本方針のもと、2021年度（4月～8月）は次の活動に取り組んだ。

(1) 国内ステークホルダーとの協調

- ポジションペーパー（俯瞰図）の作成【審議事項：議事4】
 2020年度第1回委員会では事務局作成のポジションペーパー（案）について、審議を行い、武田委員長と林委員ほか数名の委員で小グループを作り、リバイズすることになった。第2回委員会では、武田委員長と林委員にて、各ステークホルダーのマッピングと課題整理に向けた取りまとめ案を作成し、審議を行った。2021年度第1回委員会にて、ポジションペーパーの継続審議を行う。
 【詳細は、資料4を参照のこと】

(2) 国際協調に係る戦略の検討と提言

- arXiv.org の活動支援
 arXiv.org は、物理学、数学、コンピュータサイエンス等のプレプリントサーバとして、同分野を中心とした研究成果のオープンアクセスとアーカイブを進めている。日本においては、arXiv.org の利用実績が多い研究機関がコンソーシアムを形成してこの取組みを支援しており、国立情報学研究所にて、コンソーシアムの年会費の取りまとめを行っている。
- 2021年の参加状況
 国内既参加機関への継続参加の意向確認調査に対して参加の意向確認調査を行い、5月に全ての回答を受領した。
 これに基づき arXiv 事務局（コーネル大学）に2021年の参加機関のリストを送付した。arXiv 事務局からこれに基づき2021年の年会費が請求されており、6月にNIIが取りまとめて支払いを完了した。その後8月に、参加機関に対して請求書を送付した。

回答状況

| | |
|------|-------|
| 継続参加 | 16 機関 |
| 新規参加 | 0 機関 |
| 不参加 | 0 機関 |

- 2021 年 Member Advisory Board (MAB) への参画

2018 年から MAB (Member Adversary Board) には、国内参加機関を代表して、武田英明教授 (国立情報学研究所/学術情報流通推進委員会) に参加いただいている。2021 年度は 10 月 4 日開催予定であり、武田教授に出席いただく予定である。

- CLOCKSS の活動支援

CLOCKSS は、世界の主要な出版社および図書館による非営利の共同事業で、電子的な学術コンテンツへのアクセス保障と恒久的保存を目的に、ダークアーカイブ (アクセスが限定されたアーカイブ) を構築している。当研究所は、コンテンツを保持する世界 12 のノード機関の一つとして参画する他、大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) と連携して、CLOCKSS との協議や国内大学図書館の CLOCKSS への参加取りまとめを行っている。

- 2021 年の参加状況

国内既参加館への継続参加の意向確認調査を行うとともに、JUSTICE の協力により会員館に対して新規参加を促す広報を行った。5 月に調査回答のとりまとめを完了し、これに基づいて CLOCKSS 事務局に 2021 年の参加機関リストを送付した。

CLOCKSS からこれに基づき請求書が発行され、6 月に NII がとりまとめて支払いを実施した。その後、8 月に参加機関に対して請求書を送付した。

回答状況

| | |
|------|--------|
| 継続参加 | 100 機関 |
| 新規参加 | 1 機関 |
| 不参加 | 1 機関 |

- CLOCKSS Board Meeting への参画

2018 年度より、武田英明教授に CLOCKSS Board of Directors のメンバーとして参加いただいている。2021 年度は 6 月 23 日に開催され、武田教授にご出席いただいた。Board Meeting では、香港ノードが 5 月に撤退したこと、3 月 1 日付で事務局長が交代したこと等に関する説明があった。

- SCOAP³の活動支援

SCOAP³は、欧州原子核研究機構(CERN)が主導する、高エネルギー物理学(HEP)分野の査読付き学術雑誌論文のオープンアクセスを実現する国際連携プロジェクトである。日本においては、SCOAP³対象誌を購読している研究機関を中心に、従来図書館が出版社に支払ってきた購読料を、論文出版加工料(APC)に振り替えることで、HEP分野の主要な学術雑誌のオープンアクセスを支援している。当研究所は、この支援の取りまとめを行っている。

- 2021年の参加状況

5月末までに、国内既参加機関への継続参加の意向確認調査を行い、併せて新規参加機関の申請を取りまとめた。

これに基づきCERNに2021年の参加機関のリストを送付し、6月にフェーズ3(2020-2022)のMoU addendumを締結した。その後、CERNから2021年の年会費が請求され、7月にNIIが取りまとめて支払いをした後に、9月初旬に参加機関に対して個別に請求書を送付した。

回答状況

| | |
|------|-------|
| 継続参加 | 80 機関 |
| 新規参加 | 1 機関 |
| 不参加 | 1 機関 |

- 拠出期待額及び実際の拠出額

2021年に日本に拠出が期待されている金額等は以下のとおりである。

- 日本に期待される拠出額 : 694,000 ユーロ
- 2021年の日本の拠出額 : 524,263.65 ユーロ (2021年9月27日現在)
- 不足額 : 169,736.35 ユーロ (約2,200万円)

- パイロットプロジェクトSCOAP³ for Booksの進捗について

プロジェクトに必要な金額は拠出された。

4タイトルが公開され、他のタイトルも交渉終了次第、順次公開される。

- Governing Council (総会) への参画

池松委員と山地教授(国立情報学研究所)が委員として、年数回行われる会議等に参加いただいている。

(3) アドボカシー活動の実施

- SPARC Japan セミナー2021の開催【審議事項：議事5】

- 企画WGを組織して(主査：林委員)、SPARC Japan セミナー2021を計1回実施する予定。

【詳細は、資料5を参照のこと】

● 広報物の作成及び公開

• 年報

2020 年度第 2 回委員会での審議を経て、2018 年度分の発行をもって停止することとなった。

• SPARC Japan NewsLetter

2020 年度第 2 回委員会での審議を経て、2021 年度より年に 1 回の発行となった。2021 年度は 7 月に 44 号（日本語版/英語版）を発行した。NewsLetter には、SPARC Japan セミナーの開催報告の他に、arXiv.org 等国際的なイニシアティブの活動概要も掲載している。

(4) 学術情報流通の動向に係る調査の提言

- 2020 年に引き続き、日本の論文公表実態調査について、JUSTICE に協力する。